

神戸地本2018安全を誓う新春の集いを開催

福知山線列車脱線事故と明石～朝霧間触車事故の 悲劇を繰り返さない決意を固め合う!!



(川原神戸地本委員長)



(白壁中央本部組織部長)



(城中央本部副委員長)



(渡邊神戸地本青女委員長)

1月16日(火)神戸地本では、神戸チサンホテルにて共済担当者会議と2018安全を誓う新春の集いを開催しました。

共済担当者会議の冒頭、JR西労組中央本部の白壁組織部長よりご挨拶を頂き、「昨年12月11日に発生した新幹線の重大インシデントについて、異常を認めたのになぜ走らせたのか、そもそも亀裂はなぜ起きたのか、JR西日本とJR東海の引継ぎは上手くいっているのか等、会社の仕組みに対し労使安全会議のなかで議論している。西労組としては安全性向上を図るためには組合員の意見をしっかりと吸い上げ、会社と議論し、労使一体となって守れるルールを作り上げていかなければならない。会社に対してのチェック機能を働かせ、発展をさせていくことがJR西労組の使命である。今後も現場の生の声を会社に届けていくにあたり、意見をどんどん聞かせて欲しい。」とおっしゃっていました。

続いて2001年1月24日に発生し、まもなく17年を迎える明石～朝霧間の触車事故を忘れない取り組みとして、神戸地本の小出企画部長から当時の状況やその後の対策等の説明があり、改めて事故の悲惨さについて参加者で共有をしました。

18時から開催した安全を誓う新春の集いでも、神戸地本川原執行委員長から「福知山線列車脱線事故、明石～朝霧間で発生した触車死亡事故を決して忘れることなく、二度と悲劇を繰り返さない決意を固め合いたい」と挨拶がありました。

また、多くのご来賓の皆様のご臨席を賜り、祝辞とご挨拶を頂きました。JR西労組中央本部の城副委員長からは「新幹線の重大インシデントについて、組織として責任の所在を求めるのではなく、なぜ起きたのかを解明しなければならない。判断に迷ったときには列車を止める勇気を組合員の皆様に持っていて欲しい。また、2018春闘については、JR西日本発足30年、中期経営計画における目標達成の状況、過去最高益が予想される堅調な収益、そして何より現場で日々安全安定輸送に尽力してくれている組合員の労苦に答えるべく、春闘を闘いぬく決意である。常に組合員に寄り添った労組でありたい。共に頑張ろう!」と力強いご挨拶をいただきました。新春に相応しい、神戸地本の事始めとなりました。

《安全を誓う 新春の集い ご来賓紹介》

兵庫県産業労働部政策労働局

安部 斉(局長)

横井 準(労政福祉課長)

大西 信一郎(労政福祉副課長)

連合兵庫

福永 明(事務局長)

連合兵庫 西阪神地協

見澤 光徳(議長)

兵庫県交運労協

中山 武志(事務局長)

民進党兵庫県連

向山 好一(代表)

元参議院議員

辻 泰弘(元厚生労働副大臣)

三河谷 進(辻泰弘後援会秘書役)

兵庫県議会議員

栗山 雅史(JR西労組議員団会議)

全国交運共済生協

足立 旬二(推進部長)

岩藤 広大(神戸担当)

明治安田生命保険相互会社

美馬 俊介(営業部長)

近畿労働金庫

青木 敏英(神戸支店次長)

神戸地本退職者協議会

森下 種己(会長)

神戸CS労組

田淵 博文(執行委員長)

田中 完明(副執行委員長)

神野 純二(副執行委員長)

青田 義一(書記長)

JR西労組中央本部

城 義実(副執行委員長)

白壁 靖子(執行委員)

森川 幸司(執行委員)

新倉 実(青年女性委員長)

藤坂 泰(工務部会事務長)

新幹線協議会

米村 弘隆(事務局長)

京都駅ビル階段駆け上がり 2月24日(土)開催!!

一般の部

宇治靖記さん(明石電車区分会)

渡邊聡明さん(明石車掌区分会)

45歳以上の部

大角和彦さん(網干総合車両所分会)

女性の部

藤野沙耶さん(神戸支社分会)

皆様、応援よろしくお願い致します。

「連合愛のカンパ」へのご協力
ありがとうございました
神戸地方本部カンパ金合計

105,696円